

# 令和8年度 重点取組事項 ～地域から信頼される国有林を目指して～



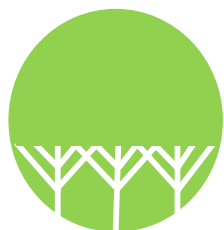
松くい虫被害予防対策



協定に基づく有害鳥獣対策



治消波ブロック工事



国民の森林・国有林

林野庁 九州森林管理局  
福岡森林管理署

1. 有害鳥獣被害の縮減に向けた取組	2p
(1)市町村および地区猟友会と連携した被害対策	2p
(2)小林式誘引捕獲法の推進	3p
(3)ICTを活用したスマート捕獲の推進	3p
(4)新植箇所シカのシカによる被害対策	
2. 海岸松林の保全・再生のための持続的な取組	4p
(1)松くい虫被害防除事業の継続実施	5p
(2)海岸松林の再生・保全対策の推進	6p
(3)UAV(ドローン)等を活用した松林管理の効率化	6p
(4)海岸松林保全における住民参画の推進	
3. 山地災害からの防災・減災、国土強靱化に向けた取組	
(1)治山施設の整備・強化	7p
(2)ICTを活用した施工管理	7p
(3)間伐等の森林整備	8p
4. 新しい林業の実現に向けた取組	
(1)ICT・ドローン等先端技術の活用	9p
(2)地上型3Dレーザーの活用	9p
(3)低コスト造林の取組	9p
5. 令和8年度福岡県における国有林主要事業量の概要	10p

# 1. 有害鳥獣被害の縮減に向けた取組

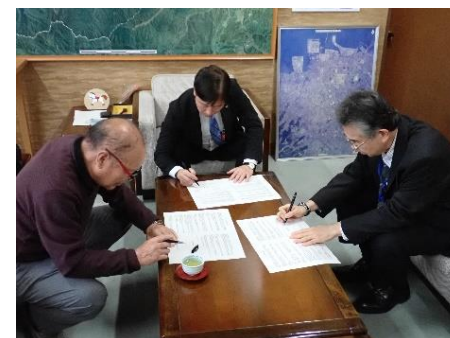
有害鳥獣被害対策にあたっては、国、県、市町村及び関係団体が情報共有を図り、国有林・民有林が連携して、農林業被害及び生態系被害の防止を推進します。

## (1) 市町村および地区猟友会と連携した被害対策

市町村および地区猟友会との三者間における被害対策協定を締結するとともに、くくりワナの貸与等を通じて捕獲体制を強化し、捕獲数の一層の拡大を目指します。

当署におけるシカ・イノシシ被害対策協定締結状況

平成29年3月：東峰村 令和元年7月：朝倉市 令和2年2月：篠栗町  
令和3年12月：岡垣町 令和4年8月：宗像市 令和5年3月：福津市・新宮町  
令和6年2月：古賀市 令和8年3月：豊前市 及び各市町村猟友会・駆除部会



## (2) 小林式誘引捕獲法の推進

小林式誘引捕獲法は、獣道(通り道)の特定やくくりワナの設置場所選定に熟練の経験を必要とせず、技術的なハードルが低いため、誰もが確実に取り組める体制の構築を目指します。



くくり罠



誘引餌状況



捕獲状況

# 1. 有害鳥獣被害の縮減に向けた取組

## (3) ICTを活用したスマート捕獲の推進

ICT(無線通報システム)を活用した「スマート捕獲」を推進するとともに、市町村や地元猟友会へ同システムの導入を促し、地域におけるくくりワナ等の捕獲活動を強化します。



5基の親機と電波受信範囲のイメージ図



LPWA無線通報システム(親機)



子機設置状況

## (4) 新植箇所のシカによる被害対策

新植箇所の造林木をシカの食害から保護するため、防護柵の設置等を推進しています。なお、設置に際しては、コスト低減と効率化の徹底を図ります。



防護柵設置前



防護柵設置中



防護柵設置後

## 2. 海岸松林の保全・再生のための持続的な取組

「福岡県森林病虫害等防除連絡協議会」などの機会を通じて、県や関係自治体との連携を密にし、海岸松林が持つ保安機能のさらなる強化を図ります。

### (1) 松くい虫被害防除事業の継続実施

マツノマダラカミキリの成虫を駆除するための薬剤散布(空中・地上散布)、および幼虫を駆除するための枯損木の伐倒・破碎処理を、継続的かつ計画的に実施します。



空中散布  
三里松原 (岡垣町)



地上散布  
楯の松原 (新宮町)



伐倒・破碎処理  
幣の松原 (糸島市)

## 2. 海岸松林の保全・再生のための持続的な取組

### (2) 海岸松林の再生・保全対策の推進

三里松原(岡垣町)の松くい虫被害跡地における抵抗性マツの補植および、耐久性と施工効率に優れた防風柵の設置を推進します。あわせて、海岸部における幼齡林の健全な育成を図るため、本数調整伐(間伐)を実施します。

#### ○ 松林の再生



重機での設置が可能で  
耐久性の高い防風柵  
(大径材利用)の設置  
三里松原 (岡垣町)

抵抗性マツの植栽  
幣の松原 (糸島市)



#### ○ 本数調整伐の実施



実施前



実施後



## 2. 海岸松林の保全・再生のための持続的な取組

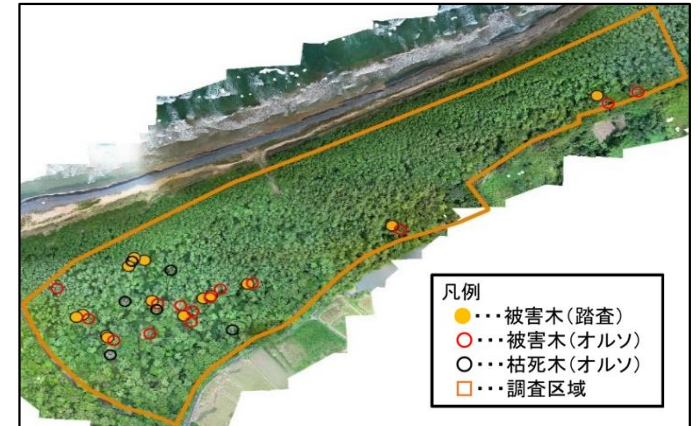
### (3) UAV(ドローン)等を活用した松林管理の効率化

UAV(ドローン)等の空撮により被害箇所を早期特定を図り、効率的な地上調査と連携させることで、被害木調査全体の省力化・迅速化を推進します。



ドローンによる被害木位置地の確認

ドローンのオルソ画像で把握した被害木データと地上調査(踏査)による被害木GPSデータの比較



### (4) 海岸松林保全における住民参画の推進

松林の保全を目的とした協定を締結し、地域住民と連携した保全活動を推進します。



三里松原松葉掻き  
岡垣町 (三里松原防風保安  
林保全対策協議会)

楯の松原保全作業体験  
新宮町 (筑前新宮に白砂青  
松を取り戻す会)



# 3. 山地災害からの防災・減災、国土強靱化に向けた取組

平成29年7月の九州北部豪雨以降、頻発する集中豪雨等により、山腹崩壊に伴う林地荒廃や林道施設の法面崩壊等の被害が継続的に発生しています。これに対し、福岡県および県内関係市町村との緊密な連携のもと、治山施設の機能強化や間伐をはじめとする森林整備を強力に推進してまいります。

## (1) 治山施設の整備・強化

国民の安全・安心を確保するため、山腹崩壊に伴う土砂や流木の流出を抑制する治山施設の整備・強化を推進します。



上轟治山工事(溪間工)  
(久山町)



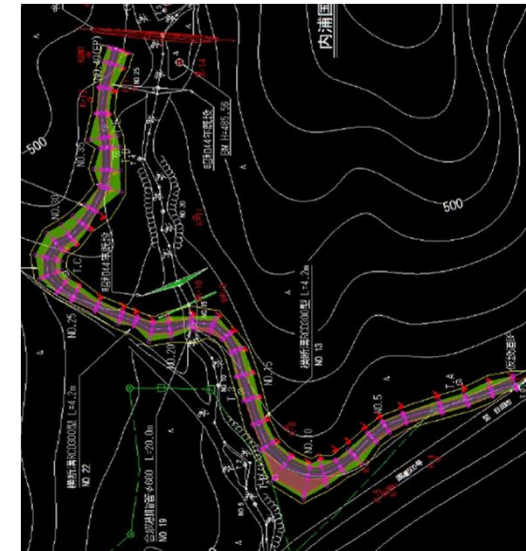
内浦治山工事(溪間工)  
(東峰村)

## (2) ICTを活用した施工管理

工事現場において情報通信技術(ICT)を活用し、全プロセスの効率化・高度化、安全性向上を図ります。



3次元起工測量



3次元設計データ

# 3. 山地災害からの防災・減災、国土強靱化に向けた取組

## (3) 間伐等の森林整備

間伐や再造林等の森林整備および路網作設を計画的に推進します。

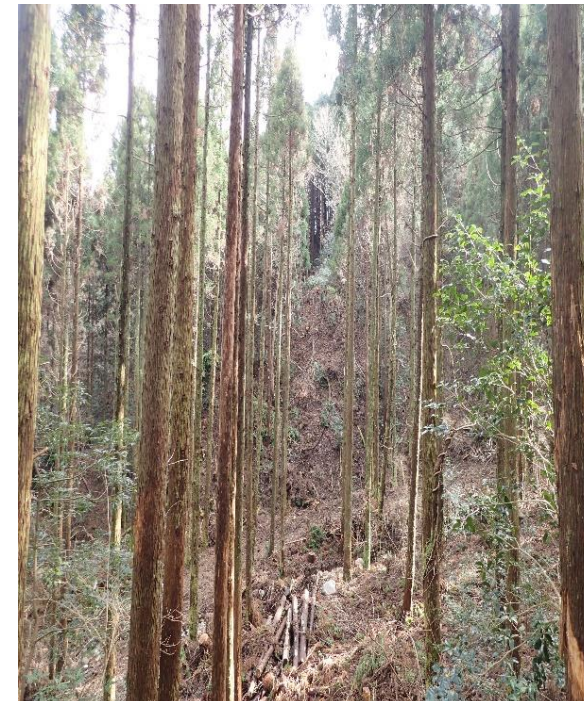
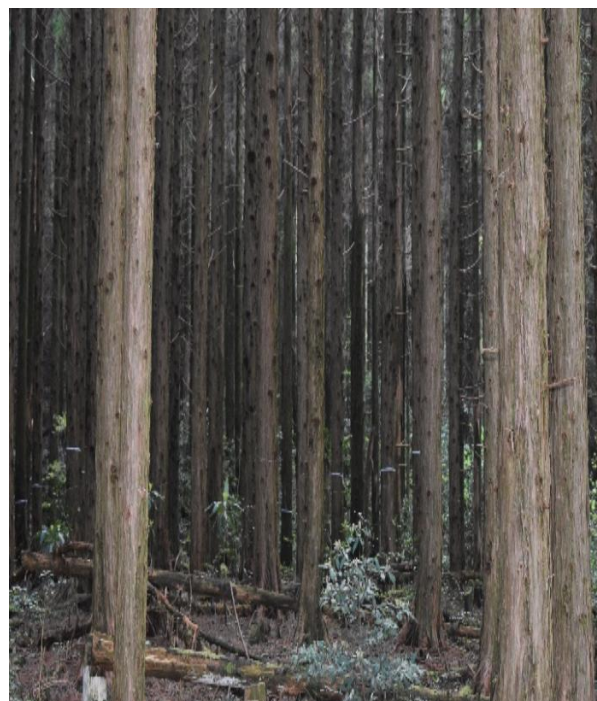
これらを通じて、森林の表土保全と下層植生の発達による水源涵養機能の維持、下流域における洪水被害の軽減、ひいては地球温暖化防止への貢献を図ります。



フェラーバンチャーザウルスによる路網作設



列状間伐



- ・伐倒時のかかり木が少ないなど安全かつ効率的な列状間伐を採用
- ・下層植生の育成を促し、水源涵養機能等を向上

# 4. 新しい林業の実現に向けた取組

伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を実現するため、「新しい林業」を実践します。具体的には、低密度植栽や下刈りの省略等による施業コストの低減、ドローンや地上レーザの導入による省力化、および木材の計画的な安定供給に向けた取り組みを推進します。

## (1) ICT・ドローン等先端技術の活用



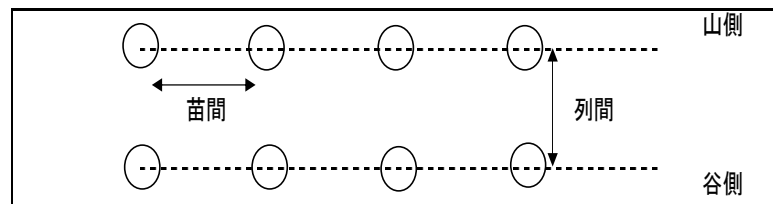
ドローンによるコンテナ苗運搬

## (2) 地上型3Dレーザの活用



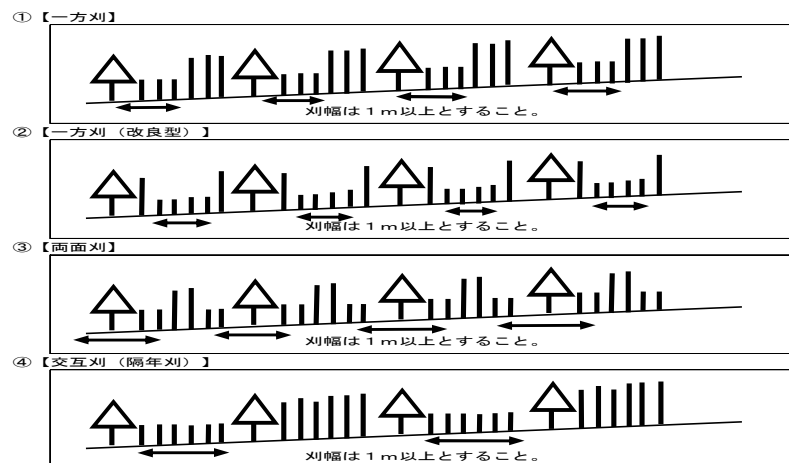
地上レーザ(OWL)による収穫調査

## (3) 低コスト造林の取組



植付樹種	ha当たりの植付本数	苗木の植付間隔 (水平距離) m	
		苗間	列間
スギ	2,000本	1.8m	2.8m
〃	1,800本	1.8m	3.1m

・低密度植栽と長方形植の推進



・地形に適した筋刈りを拡大し作業の効率化

# 5. 令和8年度福岡県内における国有林主要事業量の概要

【 遠賀川、福岡、筑後・矢部川流域 】

区分		単位	7年度当初	8年度当初	対前年度比	備考
			A	B	B/A(%)	
収穫量	主伐(m <sup>3</sup> )	千m <sup>3</sup>	48	44	92%	
	間伐(m <sup>3</sup> )	千m <sup>3</sup>	75	70	93%	
	計	千m <sup>3</sup>	123	114	93%	
木材の販売	立木による販売	千m <sup>3</sup>	42.5	41.5	98%	
	丸太による販売	千m <sup>3</sup>	15.0	15.1	101%	
森林の造成	植付	ha	18	17	94%	複層林含む
	(苗木の本数)	万本	6.0	3.2	53%	
	下刈	ha	135	132	98%	
	つる切・除伐	ha	17	4	24%	
	保育間伐	ha	250	232	93%	
林道	新設	Km	0.1	0	—	
	森林作業道開設	Km	33	32	97%	
治山	国有林野内	千万円	11.5	10.5	91%	
	民有林直轄	千万円	58.8	59.3	101%	朝倉民直

※四捨五入の関係で計と内訳の合計が一致しないことがある。